

鯖江市環境教育支援センター運営状況

1 利用状況および使用料納入実績

①利用状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
来館者数（人）	2,837	3,535	5,499	5,164	5,288
利用団体数 （団体）	262	259	368	304	264

②使用料納入実績

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
センター使用料 （円）	22,340	50,980	85,080	84,820	174,500
コピー使用料（円）	128,837	243,492	190,332	74,185	213,217

2 管理体制

センターの管理業務は、特定非営利活動法人エコプラザさばえに委託して行った。

3 事業の概要（センターで行う主な事業 令和6年度実績）

事業名	主旨	企画運営の方法	令和6年度実績
(1) 環境フェアの開催	環境基本計画を推進するため、広く市民等への啓発を行い、生活のあらゆる場面において、環境に配慮して行動する環境市民を育成する。	市と環境まちづくり委員会が共催する。企業や、他団体と協働し環境に対する取組や活動紹介等を実施。	6月16日（日） 嚮陽会館にて開催 来場者数672人
(2) こどもエコクラブ活動交流会の開催	こどもたちが一年を通して、主体的に行なってきた環境学習および環境保全に関する活動を発表する機会を提供する。また、環境活動を行うこどもや大人（ボランティア）との交流の場を設けることにより、今後の環境学習意欲の向上と環境保全活動の裾野を広げる。	環境まちづくり委員・市教委関係者、市民ボランティア、NPOおよび市民団体等で実行委員会を組織し、こどもと大人が一体となって交流の輪を広げる。	2月2日（日） 嚮陽会館にて開催 来場者数300人

(3) かんきょう市民大学・井戸端会議・企業セミナー等の開催	環境基本計画推進のため、環境に関する知識・意識を高め、環境に配慮した行動ができる市民を広く育成する。	講演会やワークショップ等の形式で開催する。	おむつリサイクル事業等 計2回開催 参加者46名
(4) 環境学習の企画実施	小中学生・市民に様々な体験(森づくり・ビオトープ他等)・学習会を通して環境を身近に感じ更なる取組みを促す。	学校・市民・市民団体等からの申し込みで随時実施する。本センター以外に出前講座を含む。	小学校環境学習29回 独自環境学習11回 その他打合せ等4回 参加者延1,518名
(5) 親子リサイクルバスツアーの開催	リサイクル施設見学を通し、親子で学べる環境教育の場を企画し、環境を担う人材づくりを目指す。	市広報で予定を掲載し、募集する。	エフビコ中部リサイクル工場等見学 7月26日(金) 参加者44人
(6) 館内企画展示	館内展示により様々な環境問題ジャンルの情報を来館者に伝え啓発を図る。	センター内で環境団体の紹介や環境啓発の企画展示・紹介を行う。	環境学習を受けた小学生の感想文を中心に 6回展示
(7) 環境まちづくり委員会会議の開催	環境まちづくり委員会・ワーキンググループ(WG)の運営をサポートし環境基本計画を推進する。	2WGに関する会議の日程調整、開催連絡、議事録作成および活動をサポートする。	会議等10回 施設見学 8月20日(火) 21名
(8) 環境アドバイザーの派遣	環境問題のあらゆるジャンルのアドバイザー(講師)を紹介し、学校・市内団体等の派遣依頼に応える。	学校、市内団体等の依頼に基づき環境アドバイザーを派遣する。	6回 参加人数243名
(9) エコネットさばえ通信の発行	センター事業や環境保全活動を広く市民に啓発するために、機関紙を発行する。	エコネットさばえ通信を企画編集発行し、広報さばえ挟み込みにて配布する。	年1回全戸配布
(10) センターに付随したビオトープの整備	ビオトープの維持・管理を通し、自然環境保全の重要性を学習するため、環境体験学習を実施する。	ビオトープ実行委員会・実践講座等の実施を通してビオトープの管理運営にあたる。	実行委員会 1回 環境体験 7回 参加人数274名
(11) どんぐりからの森づくり事業	地球温暖化防止のため、地球温暖化対策地域協議会の事業を支援する。	市内小学校と連携して行われている「どんぐりからの森づくり事業」の支援をする。	種まき 12回633名 森づくり教室 12回602名 収穫祭 11回554名
(12) 広報活動およびHPの管理・更新	ホームページを開設管理し、活動情報等を紹介するとともに環境啓発ならびにイベント参加を促す。	センター案内、事業の案内・報告等を随時行う。	HPの管理・更新

(13) 3 R・ごみ減量化の推進	循環型社会を構築するため、ごみの排出抑制、再利用、再生利用、およびごみ減量化を推進する。	ダンボールコンポストの普及、おもちゃの病院、インターネットを活用したリユースの推進等を通して資源の循環を啓発する。	おもちゃ病院 34回 受付 205個
(14) 環境リーダー養成講座	環境教育指導の手法を学び、環境に関するスキルアップに資する講座を開催し、地域職場等における環境リーダーを養成する。	環境各ジャンルのテーマで環境リーダー養成講座を開催する。	6月23日（日） 参加者 21名
(15) サケやサクラマス等の放流体験学習会の開催	卵から稚魚までの育成観察や、放流などの体験を通じて、川を守り自然を愛する気持ちを醸成する。	サケの受精卵入りペットボトルを小学校、幼稚園、保育園等に配布して飼育観察を行うとともに、サケ等の放流会を開催する。	サケ放流会 3月23日（日） 参加人数235名
(16) SDG s の達成に貢献する活動・団体の支援および事業の実施	SDG s を達成するためには、私たち一人一人がSDG s に関心を持ち、その必要性を理解してはじめて、行動に移すことができる。SDG s の達成に向けた具体的な事業を実施する。	SDG s の達成に向けた具体的な事業を実施する。	学習会 3回 参加人数185名 地域おこし協力隊およびインターンの支援 15回
(17) 魅力ある企画運営事業	環境基本計画に基づく「人と生き物が仲良くらせるまち」の実現を目指し、市民等に対して魅力ある事業を実施する。	市広報・HP等で募集する。事業の範囲は、自然環境、資源循環、地球環境、SDG s とする。エコネットオープンデー等を利用し企画事業を実施する。	オープンデーの開催 10回 参加人数387名

4 収入および支出に係る決算の状況

センターの管理業務の収入および支出に係る決算の推移は、次のとおりである。

(1) 収入の部

(単位：千円)

科 目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指定管理料	24,214	25,000	25,000	25,278	25,646
負担金収入	35	205	335	349	145
センター使用料	22	51	85	85	174
雑収入(コピー代等)	129	243	190	74	213
計	24,400	25,499	25,610	25,786	26,178

(2) 支出の部(指定管理者が行う業務部分)

(単位：千円)

事業区分	予算区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
施設管理費	人件費	13,967	15,109	13,822	14,541	15,581
	消耗品費	351	808	801	1,009	880
	燃料費	229	324	265	293	311
	光熱水費	1,069	1,270	1,439	1,717	1,951
	修繕費	461	505	213	277	93
	通信運搬費	242	340	402	411	466
	手数料	49	125	88	72	72
	保険料	230	260	164	113	193
	委託料	1,824	1,576	2,454	1,865	2,294
	使用料・賃借料	344	268	260	471	444
	備品購入費	232	95	0	3	2
	負担金その他	200	49	136	68	150
	小計	19,198	20,729	20,044	20,840	22,437
環境啓発・教育事業費	報償費	179	393	158	130	329
	旅費	22	110	197	49	67
	消耗品費	1,204	1,114	1,486	852	715
	燃料費	0	0	0	0	0
	食糧費	0	0	107	99	78
	印刷製本費	711	496	769	824	686
	修繕費	0	0	30	0	0
	通信運搬費	23	87	86	52	121

手数料	141	150	125	98	20
保険料	6	0	50	31	33
委託料	819	423	305	680	924
使用料・賃借料	484	288	703	798	307
備品購入費	0	0	0	0	0
負担金	224	127	170	0	0
小計	3,813	3,188	4,186	3,613	3,280
公課費	1,389	1,377	1,294	1,458	1,290
合計	24,400	25,294	25,524	25,911	27,007
収支差引額	0	205	86	-125	-829

修繕費（施設管理費分）

項 目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
維持補修費等 (20万円未満)	460,625	505,087	213,127	277,134	93,335
維持補修費等 (20万円以上)	0	484,000	0	7,785,800	242,000